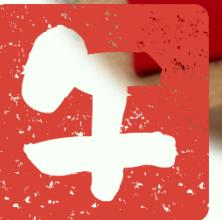


ふたかみ NEWS プチトマト

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
本年もよろしくお願ひ致します。

2026年



社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二

編集責任者: 関口奈緒美



～駒ヶ谷小学校ふれあいまつり～

駒ヶ谷小学校でのふれあいまつりに参加しました。はびきの園はストラックアウトのコーナーを担当しました。10人1グループで点を競い合い、最後に各グループ1位の人を集めて優勝者を決めました。コーナーは大盛況で多くの子さんが参加してくれました。参加証のお菓子もとても喜んでくれ、中には「ハピバールや！知ってる！」と言ってくれる子さんも何人いました。会場では他にも輪投げやスーパー保育園すくい、クリスマスツリー作りなどあり幼児から小学生までたくさんのお子さんが楽しまれていました。地域の皆さんも笑顔いっぱいで交流できる場に参加でき、明日への活力をチャージできる大変有意義な時間を過ごせる機会となりました。（安座間）



～古着市を開催しました！～

11月29日（土）に府営翠鳥園住宅横の空き地にて秋の古着市を開催しました。11月の終わりのため気温が心配されましたが当日は晴天で暖かい中開催することができました。買い物かごいっぱいに買い物されるお客様、「ありがとうございます」と笑顔で帰られるお客様と様々な出会いがありとても素敵な一日となりました。当日忙しい中来場された皆様や、物品を提供していただいた皆様、ありがとうございました。次回は、2026年3月7日（土）に春の古着市を開催します。ぜひ足を運んでいただければ幸いです。



(波多江ひ)

■後援会入会及び更新の方々（敬称略）

2025年11月

- ・田中美希/中島圭一/楠尾薰 ・・・ 5口 波多江望 ・・・ 4口 山口鋼一 ・・・ 3口
- ・金田佑清/高木晶美 ・・・ 2口
- ・竹内彩/池田聰子/東侑佑/村松美佳/淡路也重子/辻敏之/辻まち子/辻敏哉
辻摩美/向山由美/阪本真都 ・・・ 1口
- アルミ缶回収（11月分） ・・・ 626kg

ありがとうございます

◆2025年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

【個人会費：1口 2,000円 団体会費：1口 10,000円】

郵便振替口座：00940-5-325894

個人会費については6月の総会で、2025年度からの会費の改定をしています。



障害があつても安心して
生活できる社会に



【お問い合わせ先】 072-958-3232

「戦後81年にあらためて思ひをはせながらゆく年ぐる年々」

昨年は戦後80年とあちらこちらで取り上げられ戦ができる国へと向かうことへの警鐘が鳴らされた一年でした。

みなさん 明けましておめでとうございます。振り返ると日本で初めての女性の首相が誕生し高い支持率を保っています。平和で暮らしやすい国へと、みなさん期待をもって迎えたことでしよう。何とか物価上昇を抑制する政策や資金問題を含む政治資金の改正などに取り組んでほしいのですが、どうも軍拡や議員定数削減などに取り組む姿勢が強いようです。福祉予算を削らずに権利としての社会福祉をおろそかにせず、障がい者を含め国民の声を聞く政治に取り組んでいただきたいと願うばかりです。もう一つは昨年の6月27日に最高裁判所で生活保護給付金の引き下げを違法とする判決が出ました。画期的な判決ですが国は謝罪（旧優生保護法の時は謝罪ありでしたね。）もなして専門委員会なるものを作り原告側の意向を無視した取り組みがなされて

② 2026年1月1日【No.425】ふたかみニュース【チトマト】

「中堅研修を受けて」

11月22日に、今年度2回目の中堅研修がありました。今回の研修は午前中が大阪健康福祉短期大学の鴻上圭太先生の研修、午後からは中谷千代子先生によるコラージュ研修でした。

午前中の研修は、6月に受けた研修の続きで、個別支援計画の作成について、大切なことは何なのか、どういう順序を立てて作成していくべきなのかをグループワークも経るのですが、今回の研修ではそれぞの段階で気を付けるべきポイントを学びました。最初の①段階の情報収集については、利用者の支援計画を立てる上で最も重要なものなので、どれだけ情報を持つているのかが力になります。

次の②の段階で、最初に収集した情報の整理の段階に入るのですが、ここではICO（国際生活機能分類）に基づいて、健康状態、心身機能・身体構造（身体の状態）、活動（できること・できないこと）、参加（他者との関わり）

③ 2026年1月1日【No.425】ふたかみニュース【チトマト】

アセスメントをしてから、④の



午後からのコラージュ研修は、なぜこの写真を選んだのか発表しました。始終和やかな雰囲気で、発表をしながら自分の内面と向き合う貴重な機会になりました。（波多江の）



「藤井寺こどもまつり」

11月16日に伴林氏神社にて開催された藤井寺こどもまつりにふたかみ福祉会後援会も参加しました。多くの団体が参加しており、親子で楽しめるイベントや出店が盛りだくさんのお祭りになりました。



うございます。振り返ると日本で初めての女性の首相が誕生し高い支持率を保っています。平和で暮らしやすい国へと、みなさん期待をもって迎えたことでしよう。何とか物価上昇を抑制する政策や資金問題を含む政治資金の改正などに取り組んでほしいのですが、どうも軍拡や議員定数削減などに取り組む姿勢が強いようです。福祉予算を削らずに権利としての社会福祉をおろそかにせず、障がい者を含め国民の声を聞く政治に取り組んでいただきたいと願うばかりです。もう一つは昨年の6月27日に最高裁判所で生活保護給付金の引き下げを違法とする判決が出ました。画期的な判決ですが国は謝罪（旧優生保護法の時は謝罪ありでしたね。）もなして専門委員会なるものを作り原告側の意向を無視した取り組みがなされて

うございます。振り返ると日本で初めての女性の首相が誕生し高い支持率を保っています。平和で暮らしやすい国へと、みなさん期待をもって迎えたことでしよう。何とか物価上昇を抑制する政策や資金問題を含む政治資金の改正などに取り組んでほしいのですが、どうも軍拡や議員定数削減などに取り組む姿勢が強いようです。福祉予算を削らずに権利としての社会福祉をおろそかにせず、障がい者を含め国民の声を聞く政治に取り組んでいただきたいと願うばかりです。もう一つは昨年の6月27日に最高裁判所で生活保護給付金の引き下げを違法とする判決が出ました。画期的な判決ですが国は謝罪（旧優生保護法の時は謝罪ありでしたね。）もなして専門委員会なるものを作り原告側の意向を無視した取り組みがなされて

います。生活保護費だけにとどまりずこれから年金などの給付金にも影響が出る恐れもあります。今後の動向を注視していきましょう。

さて今年大阪では昨年の奈良県、一昨年の滋賀県に続いて「きょうされん第49回全国大会IN大阪」が9月23日・24日に中之島の大阪国際会議場を主会場に開催されます。地元での開催は1997年以来のことです。ふたかみ福祉会からも成功に向け人、知恵、資金面で全面的に協力していただきと考えています。ふたかみ福祉会を支えていただいている多くの方々、そして仲間のみなさん、家族の皆さん、職員の皆さんとともに頑つていきました。

今年もようしくお願ひします。（ふたかみ福祉会理事長ハ木昭二）

12月1日、大阪府との懇談（大阪府交渉）がありました。私自身は「暮らしの場・グループ」として休日支援や通院支援の大変さについての発言をしましたが、それ以外にも、入所施設の生活介護が当該月の曜日の手薄な職員配置で仲間を取り組む姿勢が強いようです。福（マイナス8日）を撤廃してほしいことなどの要望があげられました。他にもヘルパーのことや、地域活動センターのことなども要望としてあげられました。障害があつても人として生きる上の「あたりまえの暮らし」をすることの大切です。余暇は「贅沢」なものではなく、余暇を過ごすことで、人とのつながりをもてるようになります。項目別に要請を伝えましたが、人としての尊厳が守られる社会へとしているべき、そのため「声をあげ続けたい」と思います。（関口な

12月1日、大阪府との懇談（大阪府交渉）がありました。私自身は「暮らしの場・グループ」として休日支援や通院支援の大変さについての発言をしましたが、それ以外にも、入所施設の生活介護が当該月の曜日の手薄な職員配置で仲間を取り組む姿勢が強いようです。福（マイナス8日）を撤廃してほしいことなどの要望があげられました。他にもヘルパーのことや、地域活動センターのことなども要望としてあげられました。障害があつても人として生きる上の「あたりまえの暮らし」をすることの大切です。余暇は「贅沢」なものではなく、余暇を過ごすことで、人とのつながりをもてるようになります。項目別に要請を伝えましたが、人としての尊厳が守られる社会へとしているべき、そのため「声をあげ続けたい」と思います。（関口な

12月1日、大阪府との懇談（大阪府交渉）がありました。私自身は「暮らしの場・グループ」として休日支援や通院支援の大変さについての発言をしましたが、それ以外にも、入所施設の生活介護が当該月の曜日の手薄な職員配置で仲間を取り組む姿勢が強いようです。福（マイナス8日）を撤廃してほしいことなどの要望があげられました。他にもヘルパーのことや、地域活動センターのことなども要望としてあげられました。障害があつても人として生きる上の「あたりまえの暮らし」をすることの大切です。余暇は「贅沢」のものではなく、余暇を過ごすことで、人とのつながりをもてるようになります。項目別に要請を伝えましたが、人としての尊厳が守られる社会へとしているべき、そのため「声をあげ続けたい」と思います。（関口な

「大阪府交渉」

「ヒューマンウェーブ」

